



報道発表

2020年5月20日

株式会社エネコートテクノロジーズへの追加投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美公）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である株式会社エネコートテクノロジーズ（本社：京都市上京区、代表取締役：加藤尚哉）に対する追加投資を実行いたしました。

○今回の投資の概要

エネコートテクノロジーズは、京都大学化学研究所の若宮淳志教授の研究成果を基に設立されたベンチャー企業で、次世代太陽電池の一種であるペロブスカイト太陽電池（PSC）の実用化に取り組んでいます。

現在、世界で使用されている太陽電池の大部分は発電層としてシリコン結晶を利用しています。シリコン結晶は、原料となるケイ砂から溶解、精製などの工程を経て製造されるため、大量のエネルギーを必要とします。一方、PSC は基盤となるフィルムに発電層や電子輸送層を塗布することで太陽電池としての基本構造を作り込むことが可能であり、製造コストの低減が期待できます。

次世代太陽電池としては PSC 以外にも有機薄膜太陽電池や色素増感太陽電池などの実用化が試みられてきましたが、発電効率や耐久性における課題を克服できず製品発売には至っていません。こうした中、PSC の発電効率はここ数年で急速に改善され、シリコン太陽電池と同等の 20% を超える水準に達しています。その他、PSC には「薄型で軽量」「柔軟性があり曲面にも設置できる」「低照度でも発電可能」などの特長があり、次世代太陽電池の本命として実用化競争が激化しています。

このような情勢の中、若宮教授らの研究グループは高い発電効率を再現性良く実現できる PSC 原材料の開発に成功しており、PSC の実用化に向けた研究開発において世界のトップグループに位置しています。エネコートテクノロジーズは若宮研究室と共同研究を実施しており、世界に先駆けて PSC 製品を発売することを目指します。まずはウェアラブル端末やセンサー向けの小型製品を投入し、スマート街灯や電気自動車、メガソーラーなどの用途に拡大していく計画です。



PSC は地球環境に配慮した製品であり、京都 iCAP が重視する ESG 投資及び SDGs 投資の方針に合致します。こうした点を評価し、当社はエネコートテクノロジーズへの 9,000 万円の追加投資を決定しました。今回の資金調達には、三菱マテリアル株式会社のコーポレート・ベンチャーファンドである「MMC イノベーション投資事業有限責任組合」も参加しています。

株式会社エネコートテクノロジーズ 概要

設立 2018 年 1 月
事業内容 ペロブスカイト太陽電池及びその関連材料の製造・販売
本社所在地 京都市上京区
代表取締役 加藤尚哉

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。2016 年 1 月には京都大学と民間企業からの出資を受け、京都 iCAP を無限責任組合員とする 160 億円の KYOTO-iCAP 1 号ファンドを組成しました。同ファンドの満期は最長 20 年間に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、起業に興味を持つ方々を対象とした会員組織である「ECC-iCAP」の運営を大学から受託しており、スタートアップ企業の経営者候補の発掘・育成にも力を入れています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL : 075-753-5303 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp